

凌辱

ワーキング  
山田<sup>®</sup>



閉店から  
十分後。

ワグナリアに  
泥棒が入った。

ワグナリアの  
天井裏に  
住み着いてる  
山田は、

焦って  
とりあえず  
小鳥遊に  
電話した。

どうしましょう  
小鳥遊さん……ッ。

店の食べ物  
つまみ食い  
してたら、

本物の  
泥棒さんが  
入って  
きました……ッ。

超怖いです……ッ。

じよ、  
状況は  
わかった。

店の食料に  
手を付けた  
ことばあとで  
しほくとして

とにかく  
見つからない  
ように  
隠れてる。

すぐ警察に  
電話  
するから。

へくちっ！

！

マズいです！

今の  
くしゃみで  
存在が  
バレました！

アホか……ッ！

小鳥遊さん  
大ピンチです！

早く助けに

ブツ

くそっ！  
電話が  
切れた！

とりあえず  
俺は警察に  
通報します！

伊波さんは  
今すぐ  
山田の救出に  
向かって下さい！

うん！  
わかった！

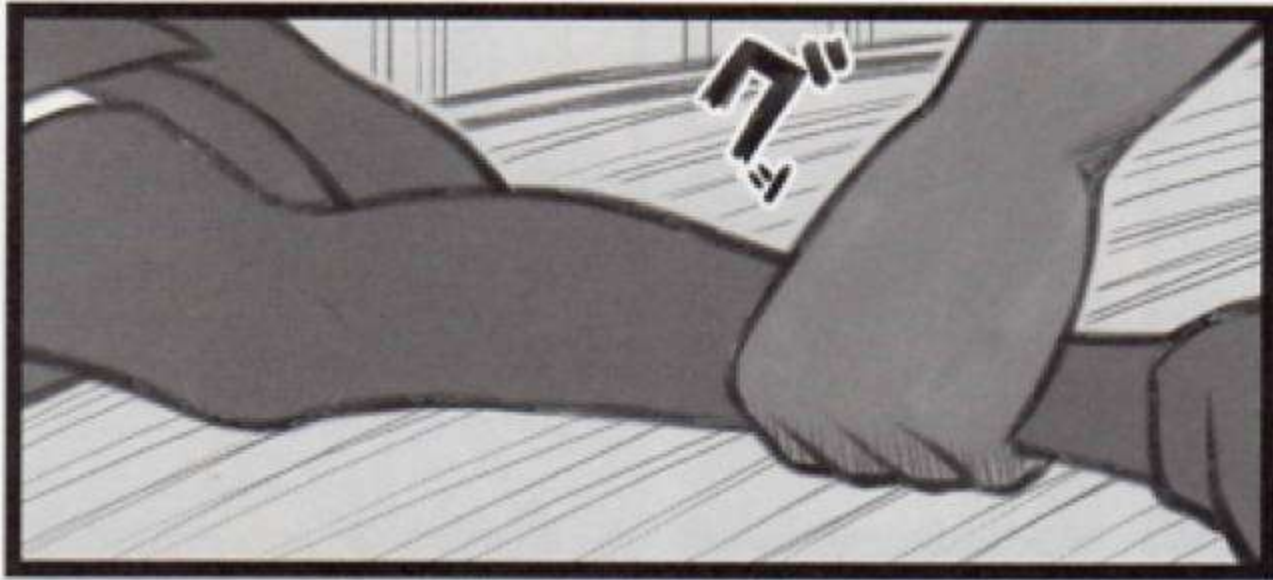


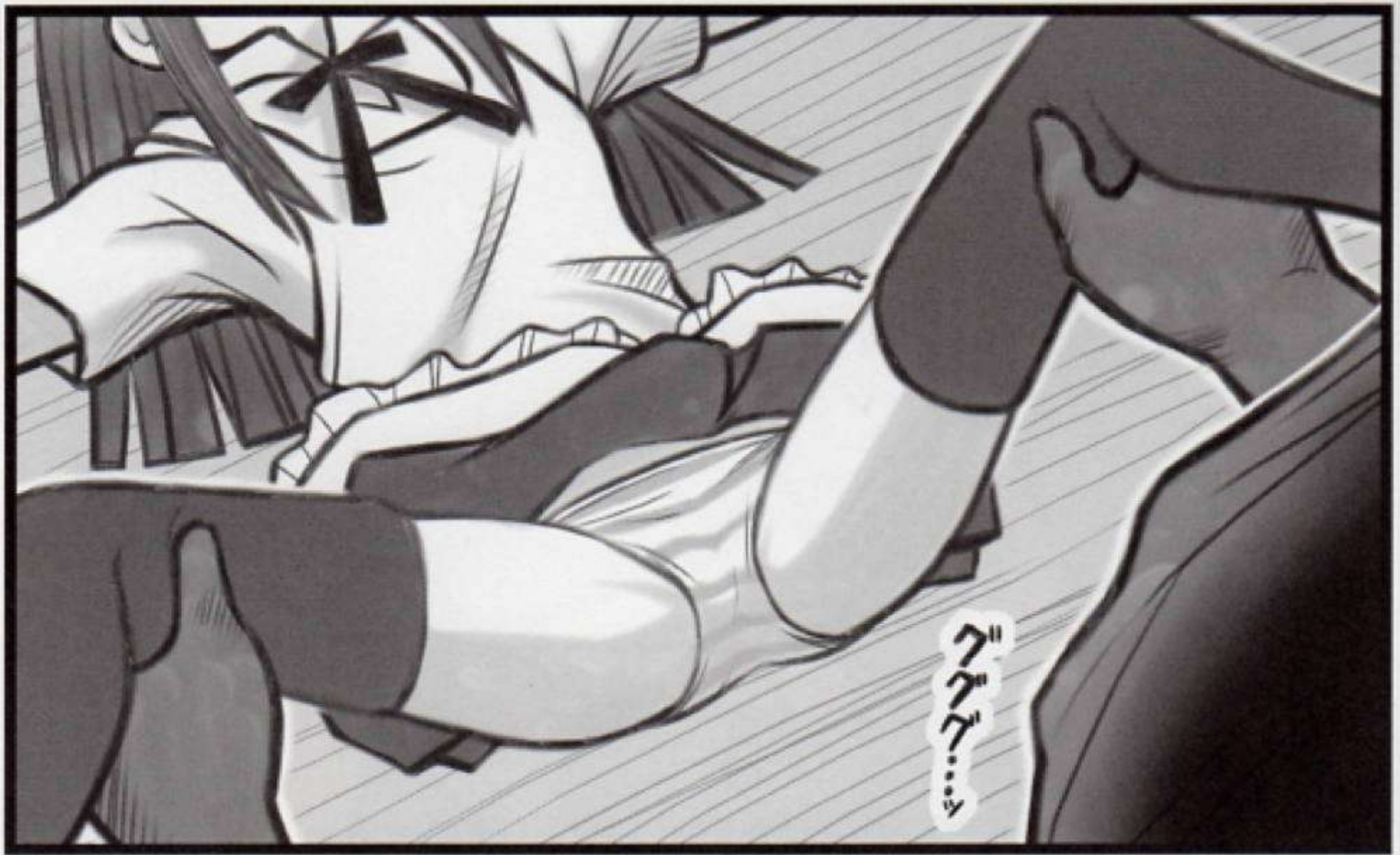
あれ……？

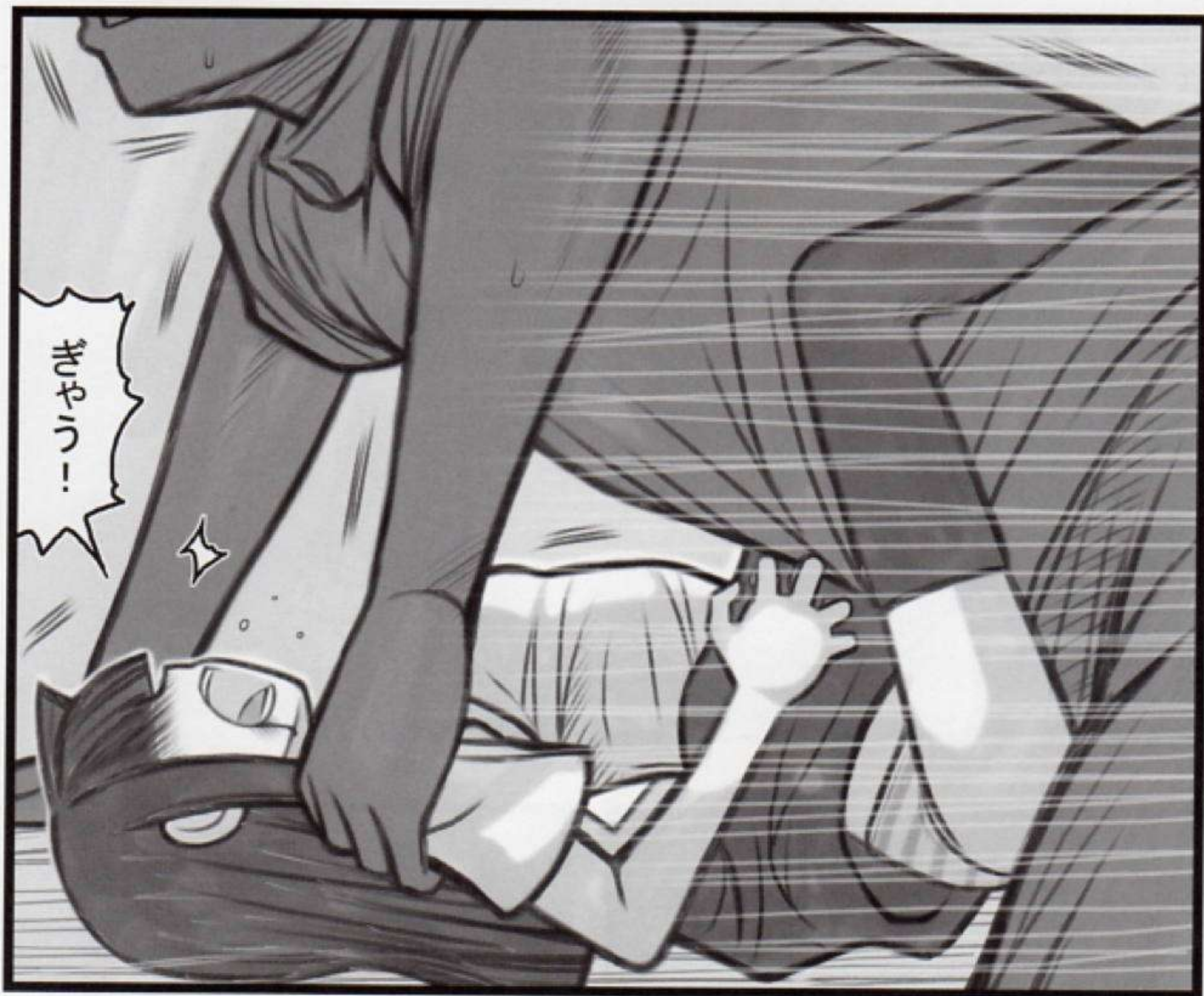
そういえば  
こういう時って、

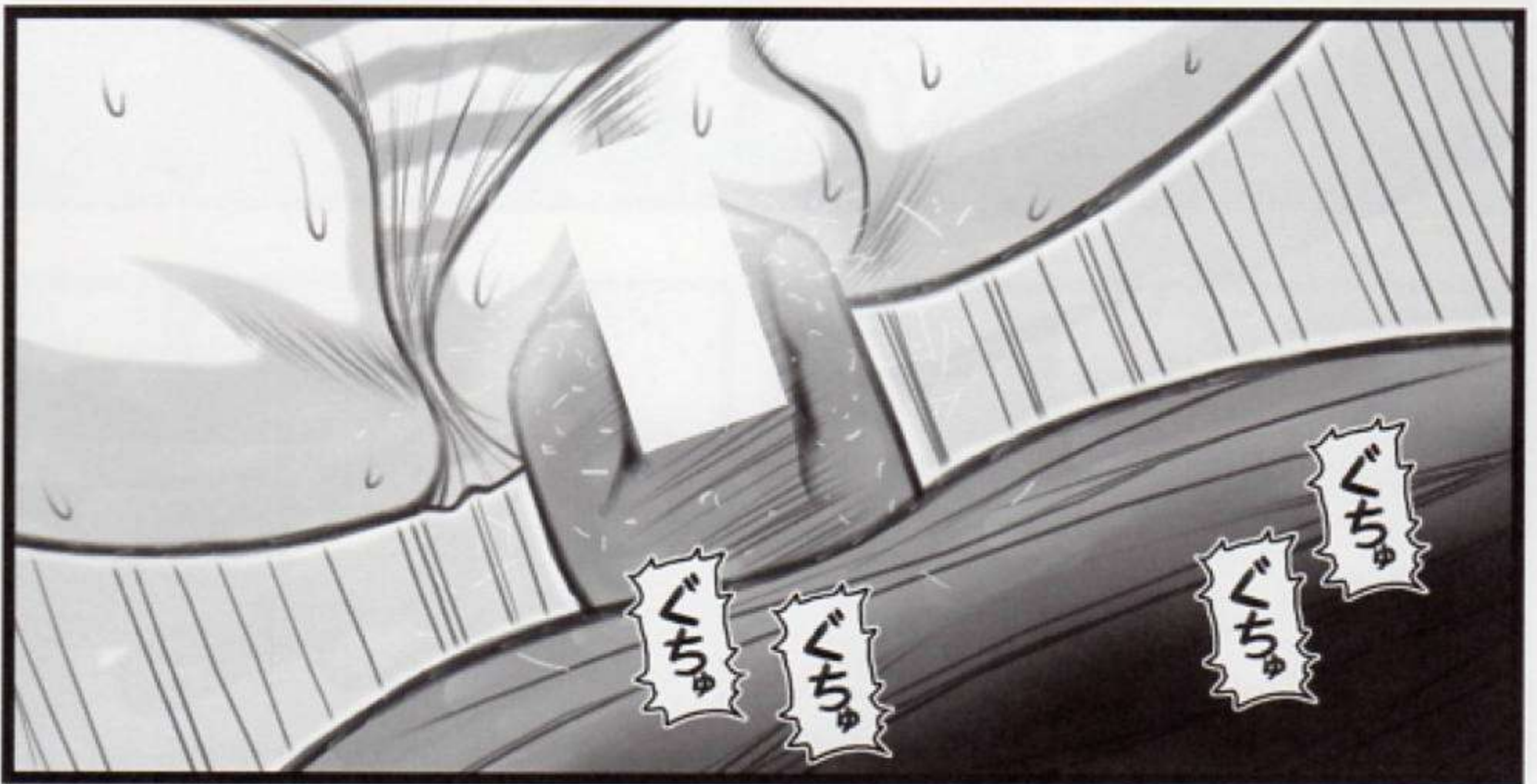
普通、男の人が  
助けに行く  
もんだよね……？

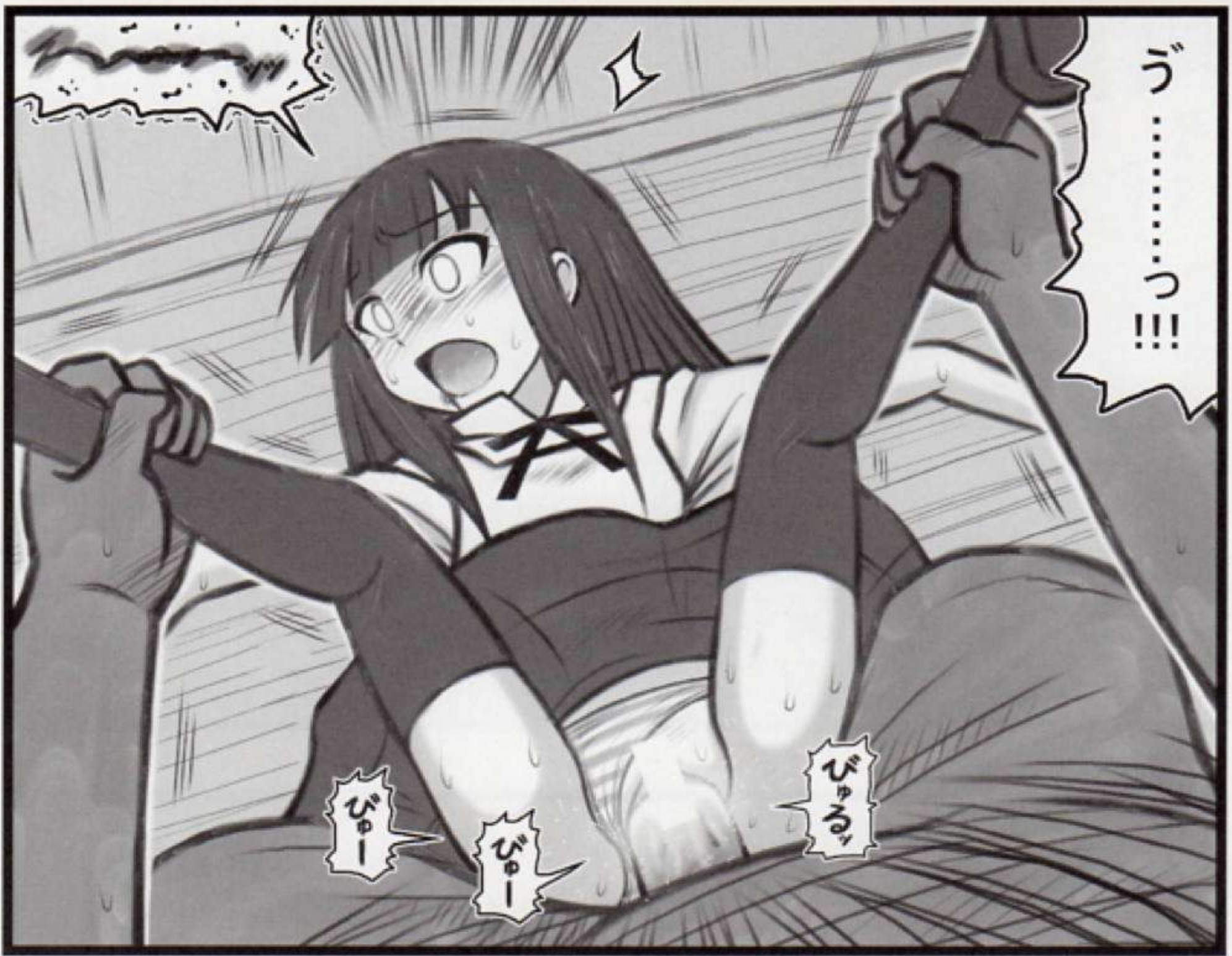






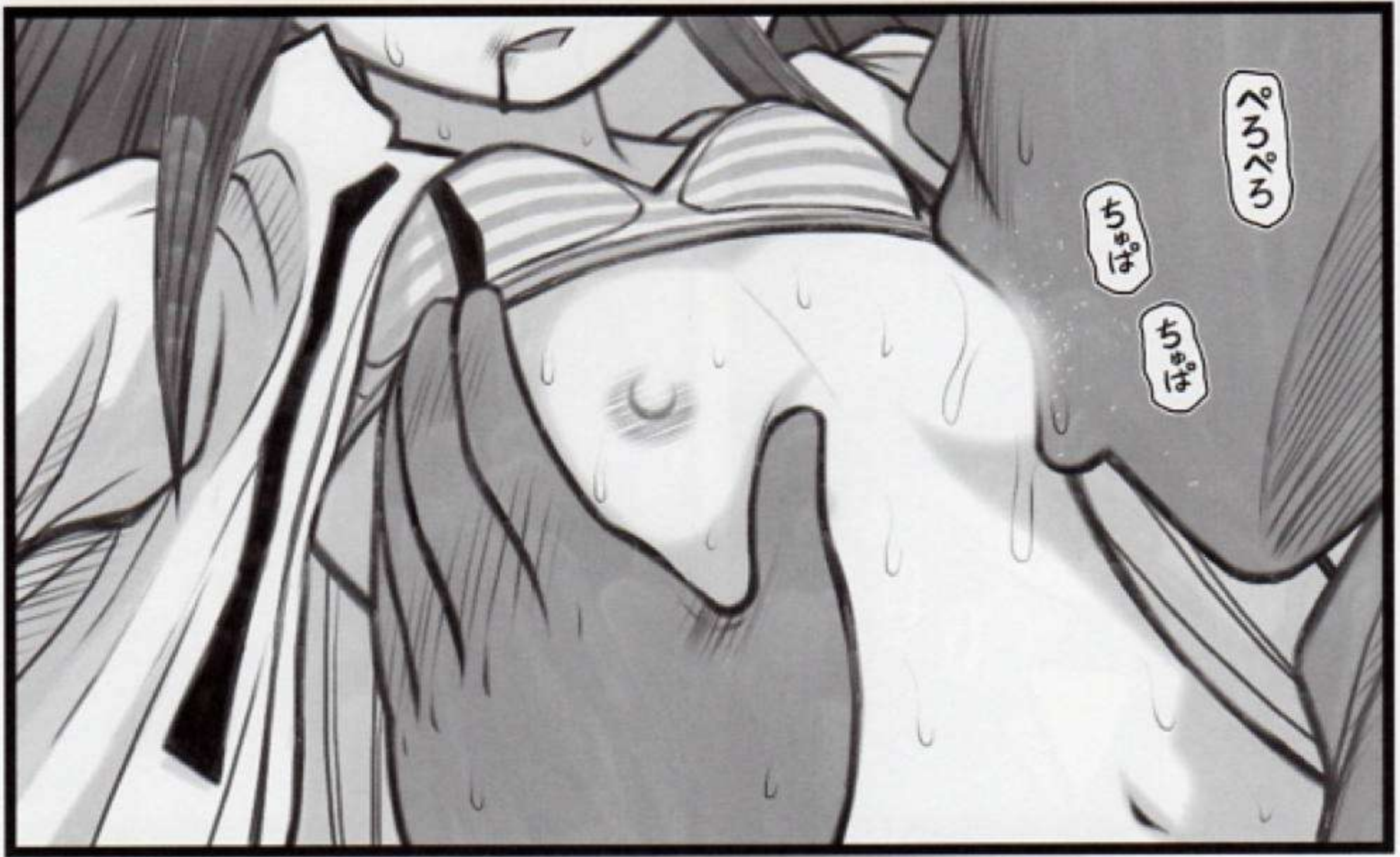


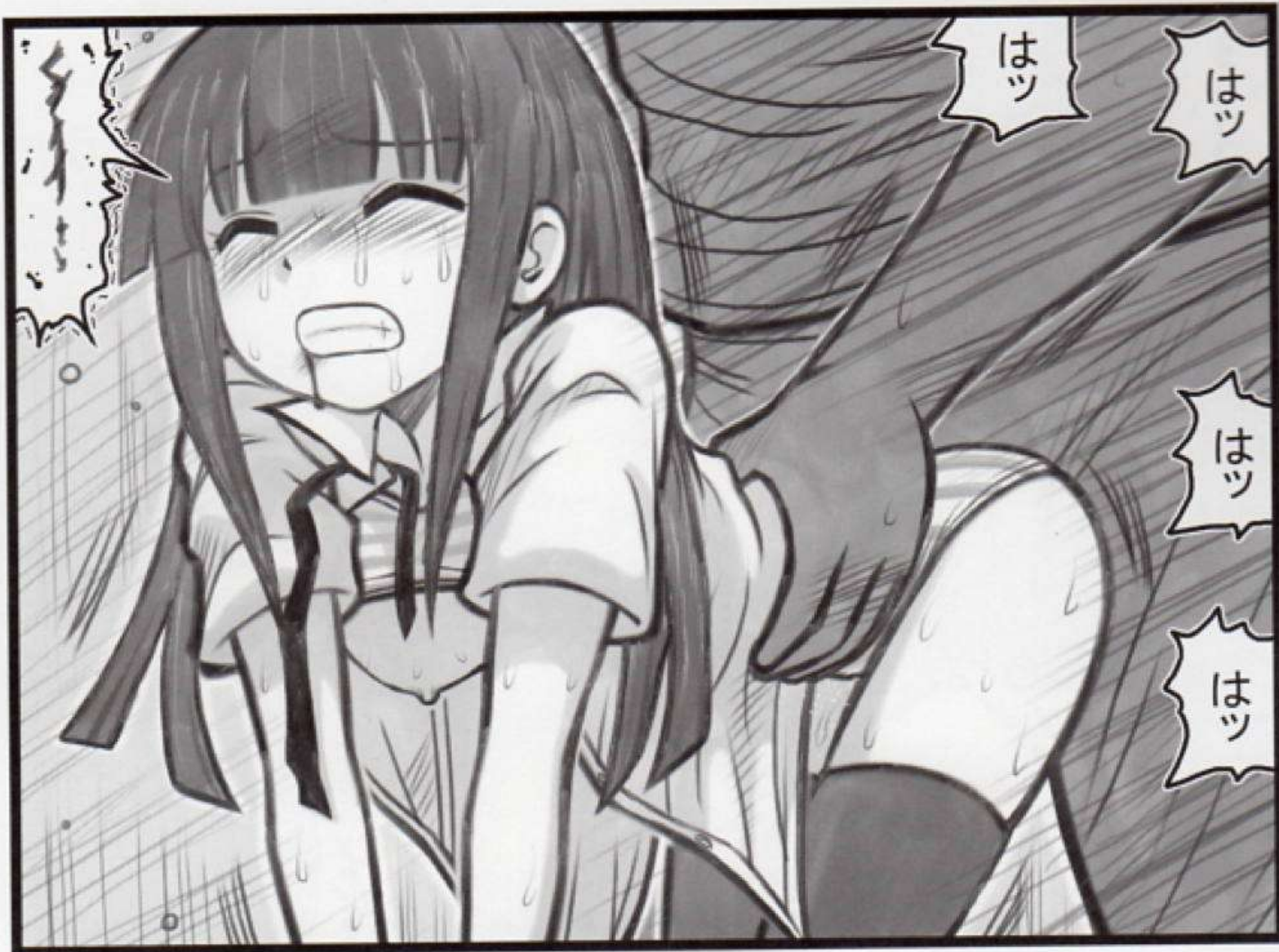




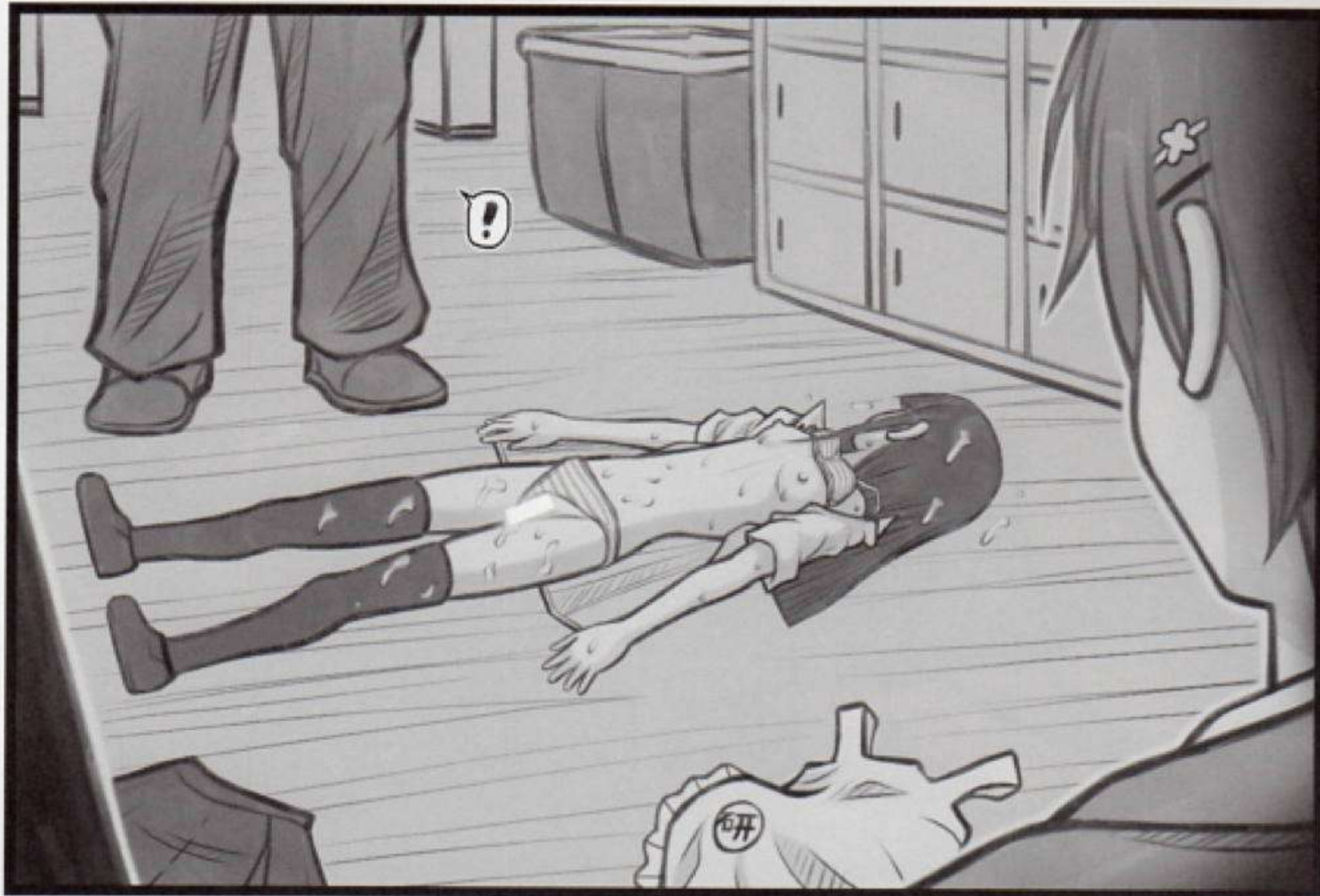










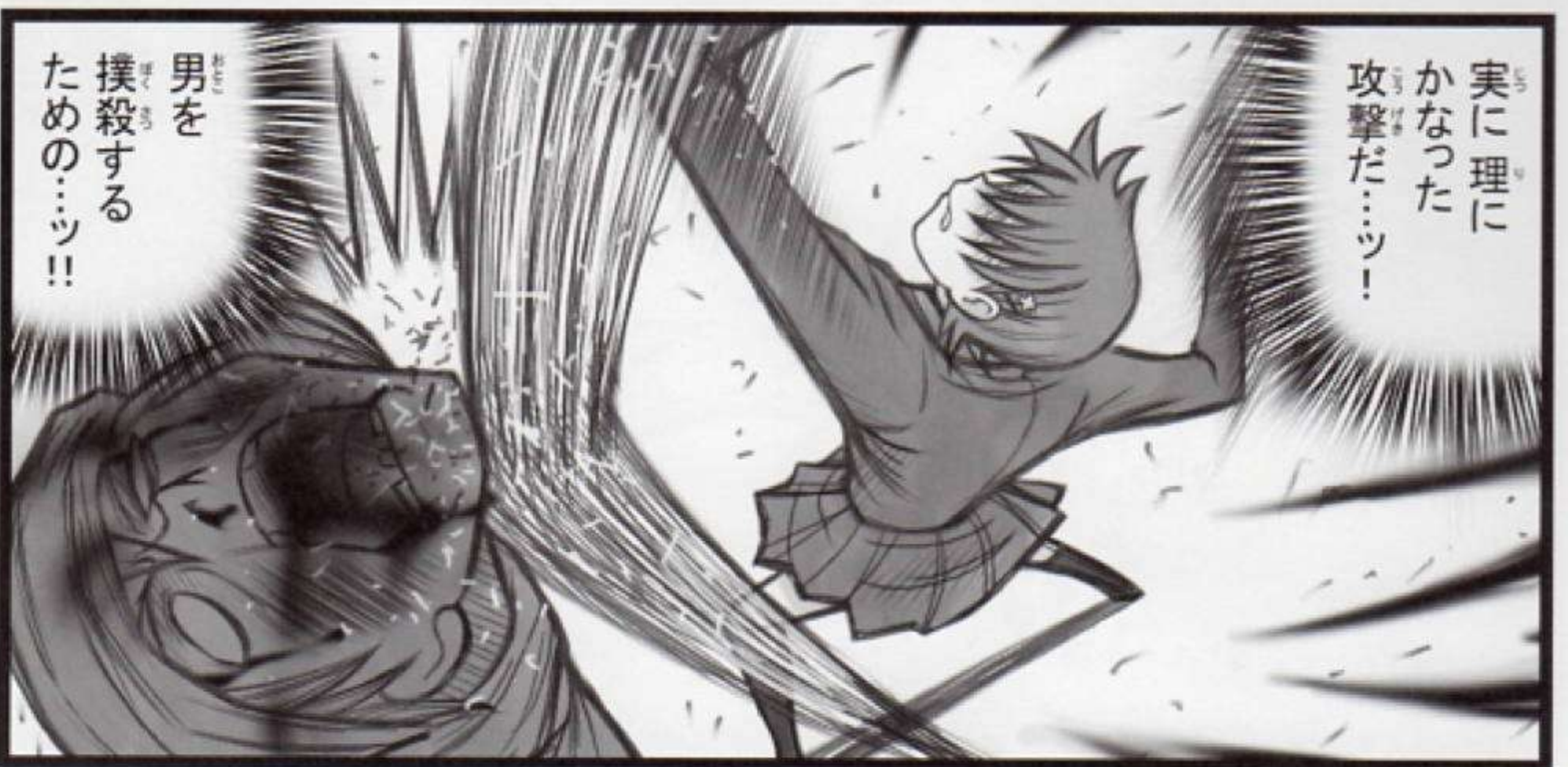


渦巻く  
ドス黒い  
感情が、  
小鳥遊に  
よって  
驕られた  
理性を  
かき消し、  
心が  
臨界点を  
超えた。

父親に  
今まで  
見せ  
られた、  
「男が悪者の  
あらゆる  
作品」が、  
伊波の  
脳裏を  
駆け巡った。



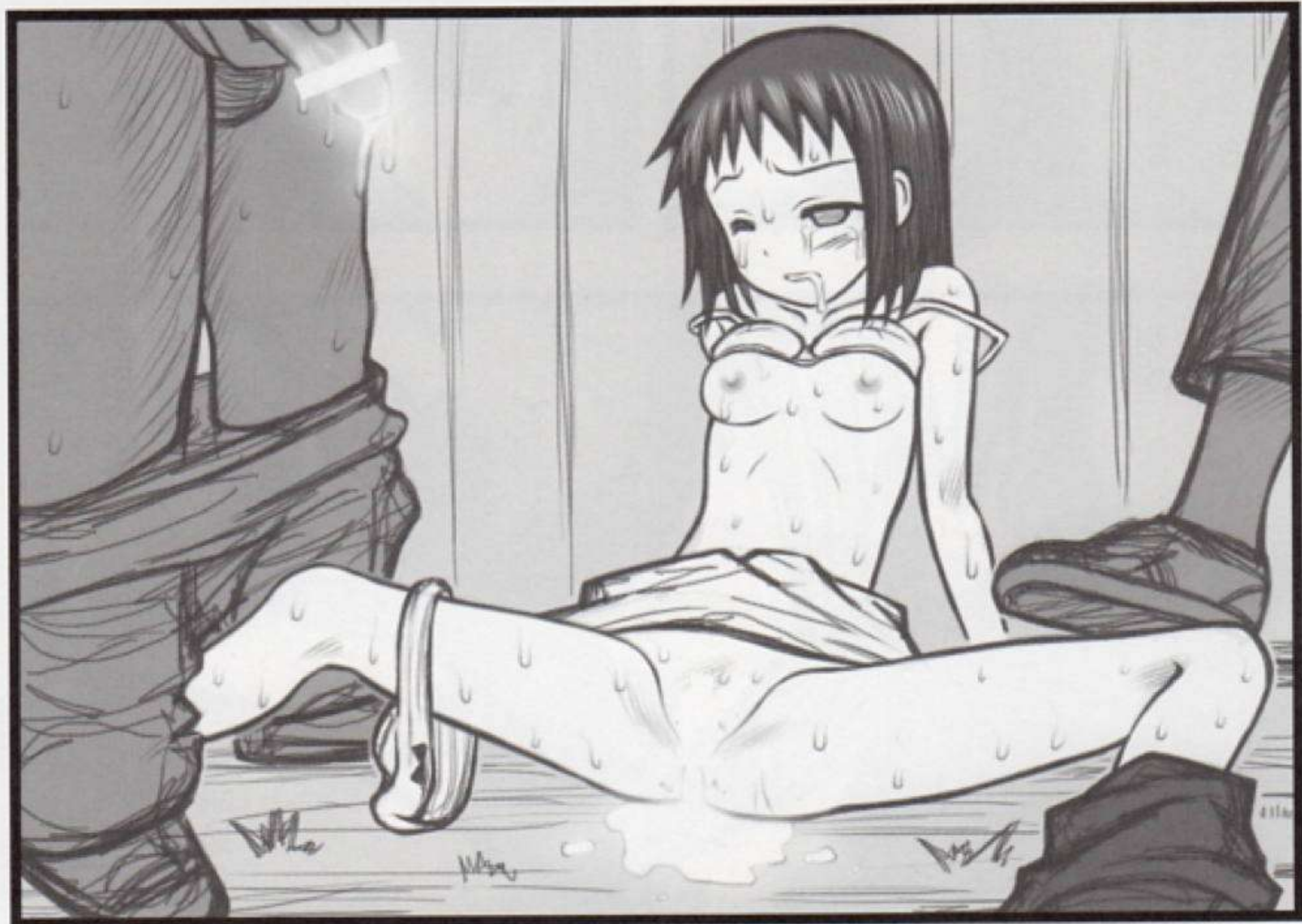




完♪

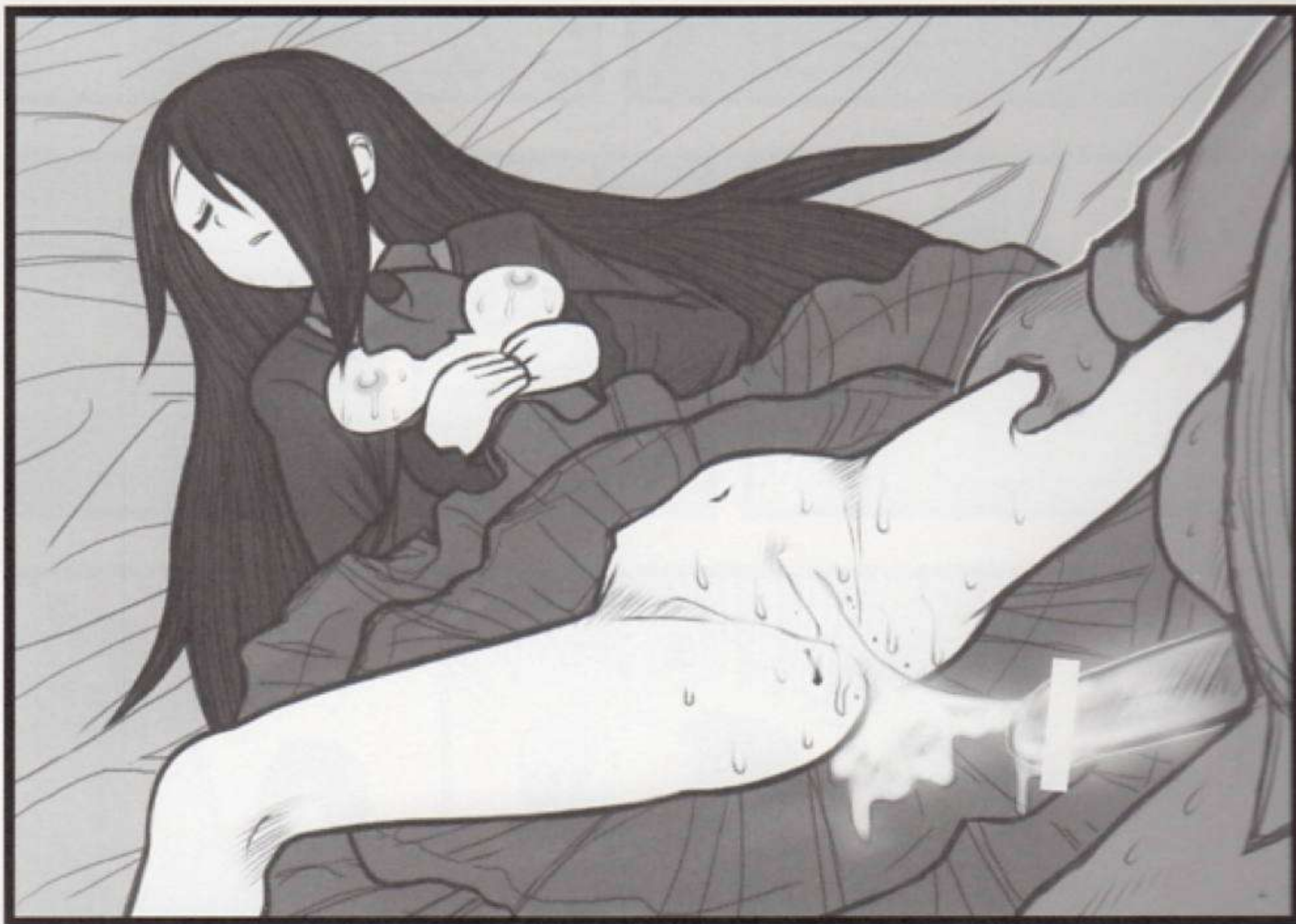
『おまけ ギャラリー』

小鳥遊なずな  
塾帰り





小鳥遊 泉  
悪質な編集者に睡眠薬





おまけ 『 笑ってはいけないワグナリア 』



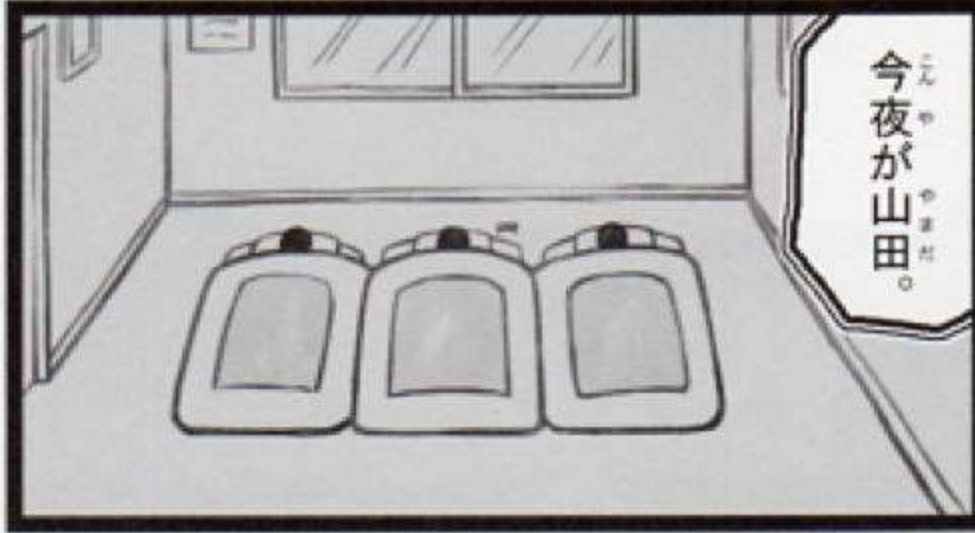
やっと  
就寝の時間が  
訪れる。

数々の  
罰ゲームを  
受けてきた  
小鳥遊・  
佐藤・相馬に、

※簡易スピーカー。



今夜が、

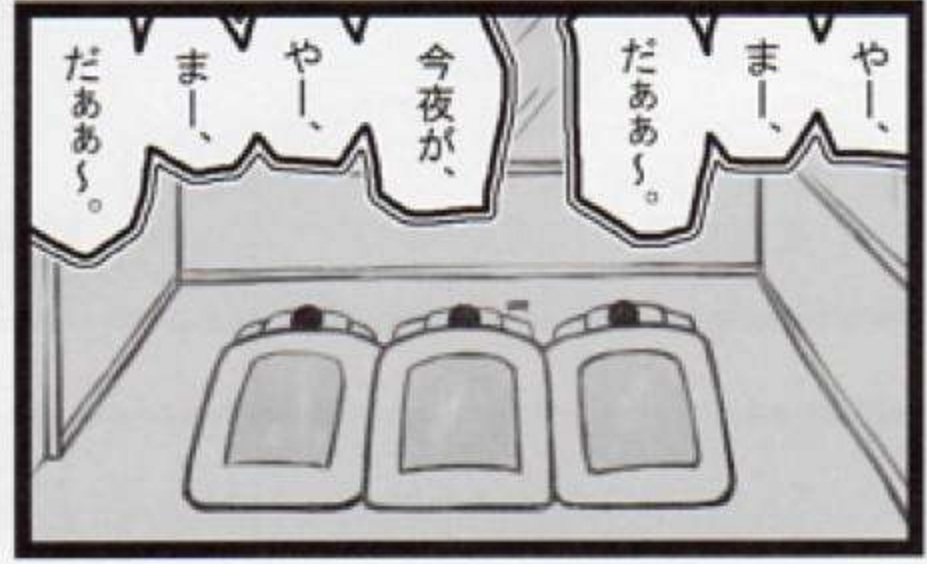


今夜が山田。



これを  
繰り返し  
言い続けて  
五分経過。

今夜が、  
まー、  
やー、  
だああ。



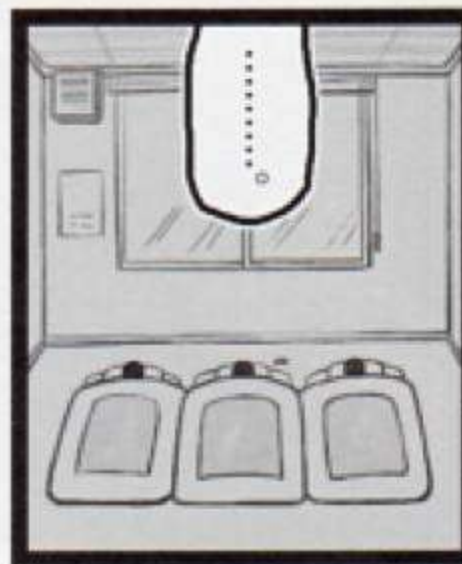
今夜が、  
まー、  
やー、  
だああ。



♪♪♪♪♪

今夜が山田。  
今夜が山田。  
今夜が山田。

※エコー。



いいかげんに  
しろ  
山田アーツ!!!

全員、  
アウトー!

デデデーン

完♪

# 大 董 卓

